



# ノシメマダラメイガ

台所に飛んでいる虫

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

発生   多い

食品に害を与えるメイガには、多くの種類があります。その中で、ノシメマダラメイガの幼虫による被害が最も多く見られます。

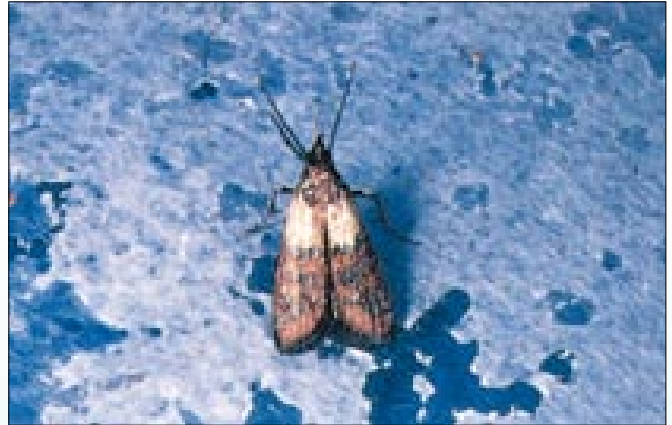
幼虫は、穀物、穀粉<sup>こくふん</sup>、乾めん、菓子、乾燥野菜、乾燥果実、ナッツ、チョコレート、七味唐辛子、小鳥の餌等、様々なものを食害します。

## 生態

ノシメマダラメイガはノシメコクガともいわれ、成虫は室内をチラチラと飛びまわります。成虫は餌をとらず、食害することはありませんが、餌や餌の周辺に数十個から二百個以上の卵を産みつけます。卵は乳白色の楕円形で長径が0.5mm程度と小さく、卵の段階で発見は困難です。また、幼虫は、口から吐いた糸で餌のクズを綴り合せる習性があり、何を食べても暗赤色、粒状の糞をするのが大きな特徴です。

## 対策

- 1) 発生源を確かめ、幼虫のついた食品を処分します。また、食品棚にこぼれた少量の粉などが、原因になることもあるので注意が必要です。
- 2) 幼虫はポリ袋等に穴を開けるので、プラスチックや缶等の密閉容器に保存し、食品に産卵させないようにする必要があります。



ノシメマダラメイガ成虫(体長約10mm)



ノシメマダラメイガ幼虫(体長約10mm)



被害を受けたクルミ(左)とナッツ入りキャンディー(右)

(写真提供：東京都)